

6月区議会が始まります

6月22日(月)10~本会議
24日(水)10~本会議
25日(木)10~総務企画、福祉区民
26日(金)10~文教子育、建設環境
7月2日(木)10~本会議
共産党の代表質問は、6月22日(月)
13時からの予定です。

「戦争法案」を廃案へ…国会行動予定



会期末に向けて、「戦争法案」廃案へ向けた連日の抗議行動が組まれています。24日の会期末

には、国会包囲の総行動も計画されています。声を上げるときです…！

6月24日(水)

午前10時~午後5時 国会前座り込み

午後0時15分~ 国会行動

(戦争させない・9条壊すな！総がかり実行委員会、国民大運動実行委、中央社保協、安保中実委)

午後6時30分~ 国会包囲全国集会
(戦争させない・9条壊すな！総がかり実行委員会)

荒川区議会 6月議会での日本共産党代表質問の要綱

6月22日、本会議で日本共産党区議団を代表して小林行男区議が行う質問の要綱です。ご意見をお寄せ下さい。

1、区民の生命・財産を守る地方自治体の責務にかかるって問う

憲法を区政のすみずみに生かし、区民の基本的人権、生存権を守る姿勢を示すこと。

区長として憲法に反する「戦争法案」

に反対し、アジアにおける草の根からの自治体・民間団体・個人などの交流と外交努力の必要性を発信することを求める。

2、社会保障改革プログラムの発動による区民生活の影響を問う

介護の社会化の理念が壊され、自立・自助・互助中心に後退してよいのか問う。

要支援のヘルパー、デーサービス事業が個人、家庭、地域のボランティアなどに委ねる総合事業で機能する保障はあるか。

特養ホームの入所制限や在宅介護サービスでも家族介護が不可欠になっており、介護施設や介護付き住宅などの増設こそ必要ではないか。

一定所得者の介護保険利用2割負担と介護施設補足給付制度に資産要件を加える負担増は過酷ではないか。また、

介護保険の大規模「資産調査」…マイナンバー制度とも連動か？

特養ホームなど介護施設入所者の資産を調査し、そのコピーを自治体が保管することになりますが、個人情報保護は、本当に大丈夫なのでしょうか。家族のいない高齢者や認知症の方、遠隔地の施設の方など事業者が対応せざるを得ないケースもあり、適切な資産管理を行う公的な仕組が必要でしょう。また年金の情報流出に不安が広がっています。マイナンバー制度という国民総背番号制度も計画され、今回の資産情報もこれに記録することになりそうです。政府は、国民の情報を一元的に管理しようとしているようです。社会保障プログラム法でも、「ICT及びデジタル基盤の利活用」をあげていますが、10月からのマイナンバー制度とのリンクを意図しているのでは

介護給付抑制にもつながる可能性もあります。真に人間的な老後を社会全体でどう保障していくのか、大きく問われています。能になると考えられます。やペナルティーを課すことも可

資産の調査対象…「預貯金」・「株」・「タンス預金」や「金・銀」も対象。

借入金…マイナス計算できます。

対象外…「生命保険」・「家財」・「絵画」・「自動車」・「評価額不明な貴金属や時計」などは除外。

不動産は今回は調査対象外。

ただし、今後は検討することに。

行き過ぎた全資産調査は、中止すること。

立ち退き、取り壊しが增加するなかで、高齢者等の保証人がないために転宅に困難が生じている。区の助成制度の改善や新規事業も検討し支援すること。

生活保護住宅扶助の引き下げによる無理な転宅指導は行わないこと。

女子医大東医療センターの区内存続へ区民・区議会とともに強力に取り組むこと。

3、まち・ひと・しごと創生や地方創生会議などによる実態を無視した「総合戦略」づくり押しつけに、毅然とした対応をとること。子どもから高齢者まで安心して住み続ける荒川区のビジョンを明確にして発信すること

4、本格的な、子どもを産み育てられる対策の強化を

不妊治療支援に区の独自対策を検討すること。

厚労省の待機児隠しのカウントをやめ、真の待機児を明確に示し、保育園・幼稚園・学童保育クラブの必要な配置を進めること。

18才まで医療費無料化に。

学校給食の公会計化と食育として無償化を検討すること。

5、国民の個人情報を管理するマイナンバー制度の中止申し入れを行うこと



政府の宣伝チラシ